

令和4年度 熱田区 区民アンケート

アンケート結果

令和5年1月
熱田区役所

調査の概要

1. 調査の目的

区政運営方針に対する区民の意見や取り組みへの評価等を把握するとともに、昨年度実施した調査との比較を行い、区将来ビジョンの成果指標の現状値計測を含め、今後の区政運営のための基礎資料とする。

2. 調査の地域

名古屋市熱田区の全域

3. 調査の対象

区内居住の18歳以上の男女1,200人

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

6. 調査期間

令和4年 8月23日～ 9月13日

7. 回答者数

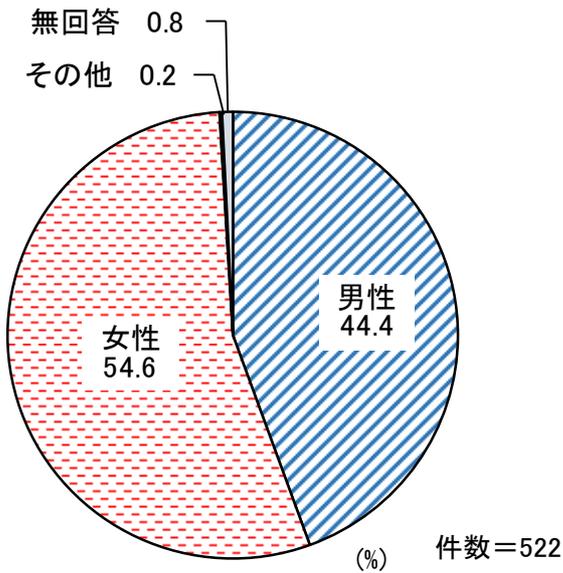
522人（回答率43.5%）

調査の結果

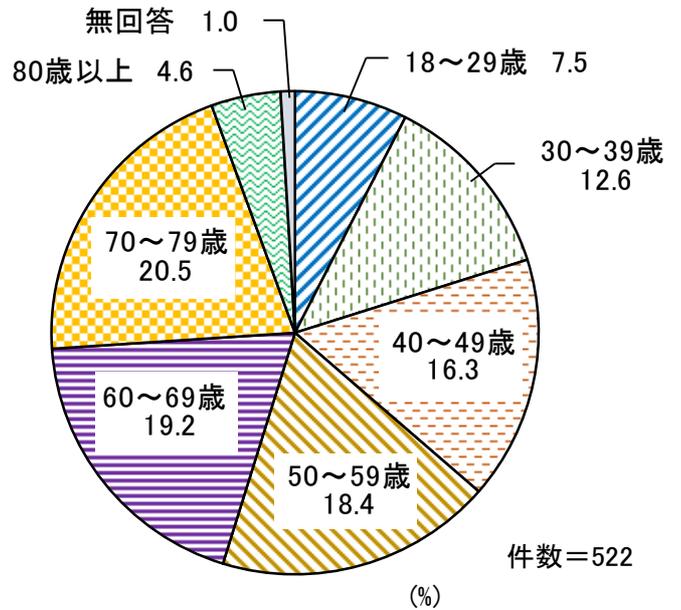
1 あなたご自身のことについて

1-1 対象者の属性

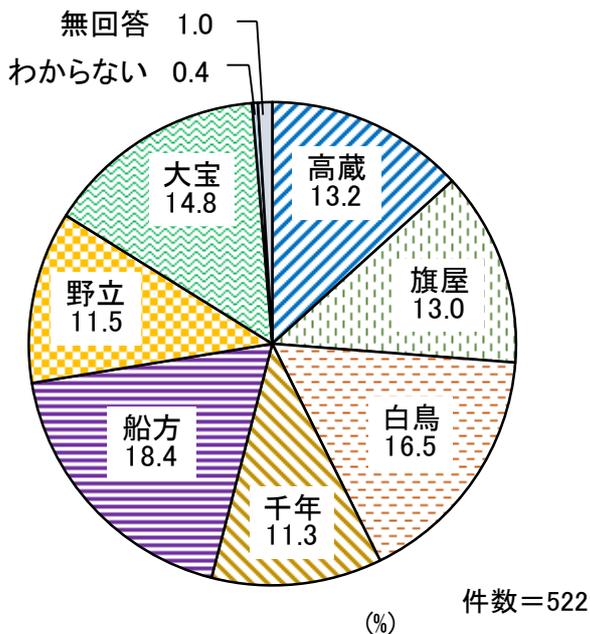
■性別



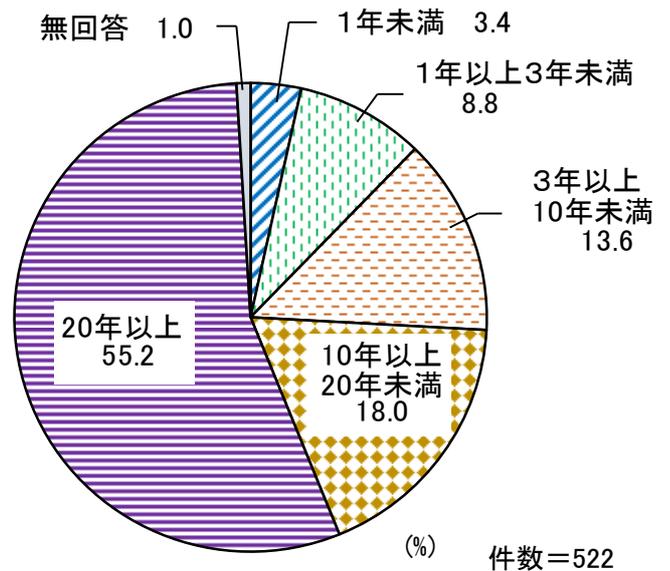
■年齢



■居住学区



■居住年数

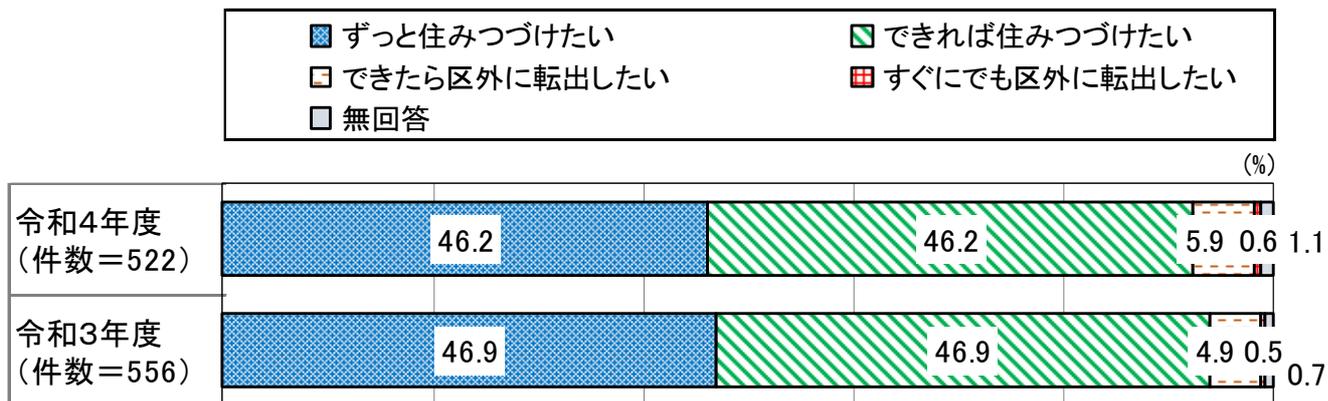


1-2 居住継続意向について

(1) 居住継続意向の有無

- これからも熱田区に住みつづけたいと思うかについては、「ずっと住みつづけたい」(46.2%)と「できれば住みつづけたい」(46.2%)の割合は合わせて92.4%で、9割以上が住みつづけたいと回答している。一方、「すぐにでも区外に転出したい」(0.6%)はほとんどみられず、「できたら区外に転出したい」(5.9%)を合わせた区外に転出したいと回答した割合は6.5%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、ほとんど差異はみられない。

問5. これからも熱田区に住みつづけたいと思いますか。
(あてはまるものに○をつけてください。)



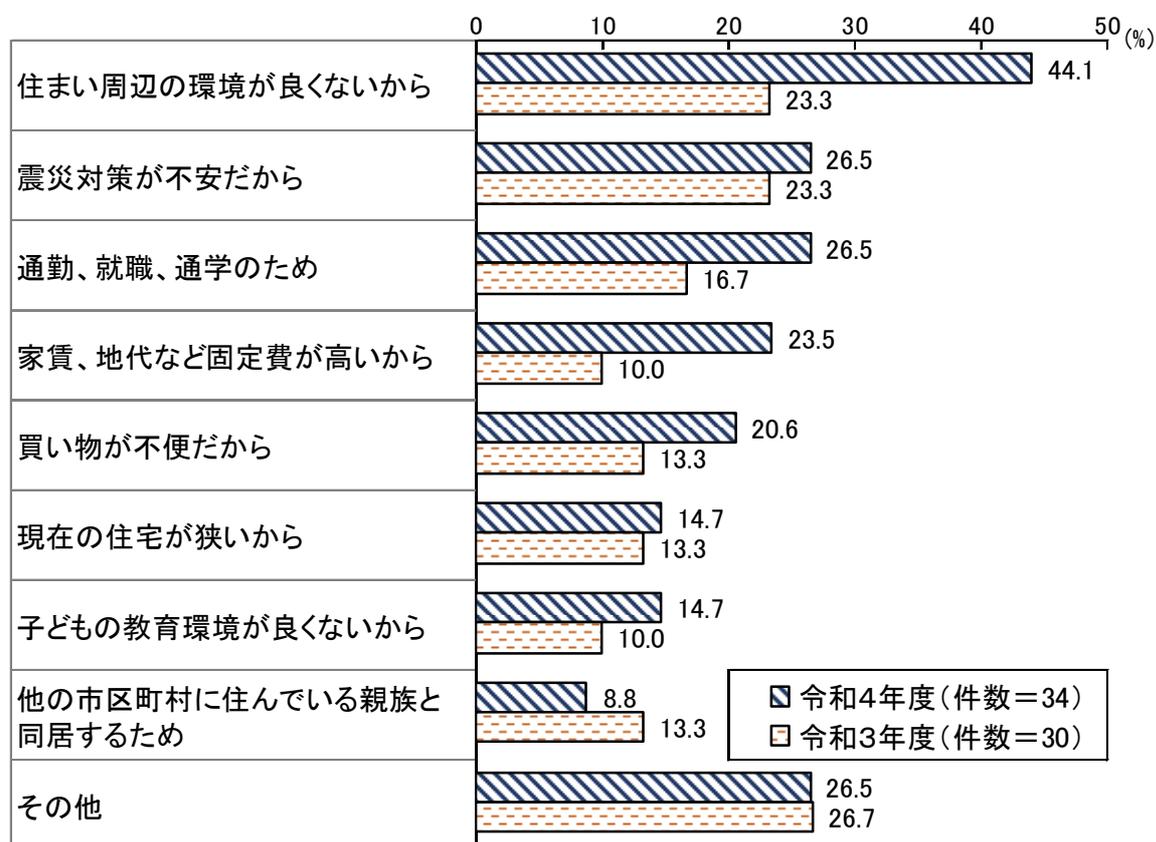
(2) 区外に転出したい理由

- 区外に転出したいと回答された方（34名）の理由としては、「住まい周辺の環境が良くないから」が44.1%と最も多く、次いで「震災対策が不安だから」（26.5%）、「通勤、就職、通学のため」（26.5%）、「家賃、地代など固定費が高いから」（23.5%）、「買い物不便だから」（20.6%）と続いている。
- 昨年度調査と比較すると、「住まい周辺の環境が良くないから」の割合が大幅に増えている。

（問5で「3」もしくは「4」を選んだ方にお聞きします。）

問6. あなたが区外に転出したい理由は何ですか。

（あてはまるものに3つまで○をつけてください。）



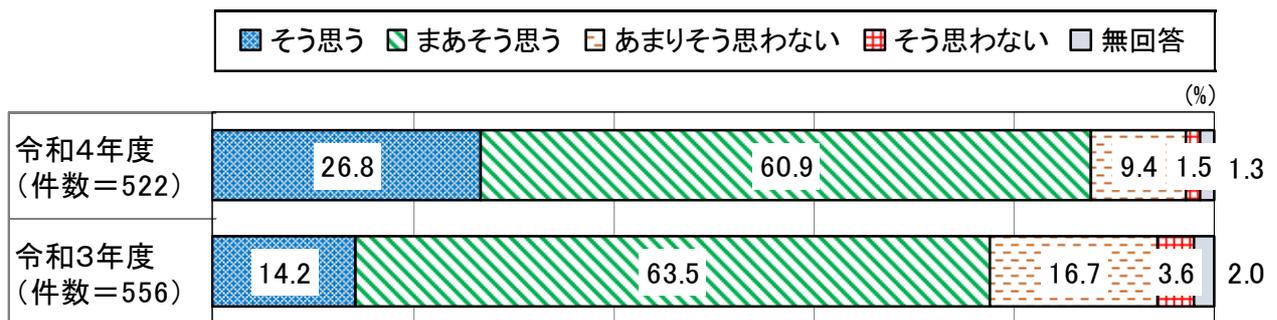
2. 区役所の取り組みについて

2-1 「安心・安全で快適なまち」について

(1) 「安心・安全で快適なまち」かについて

○ 熱田区が「安心・安全で快適なまち」だと思うかについては、「まあそう思う」の割合が60.9%と最も高く、「そう思う」の26.8%と合わせて87.7%と9割近くが肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(9.4%)と「そう思わない」(1.5%)を合わせた否定的な評価をする割合は10.9%となっている。

問7. あなたは、熱田区が「安心・安全で快適なまち」だと思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)

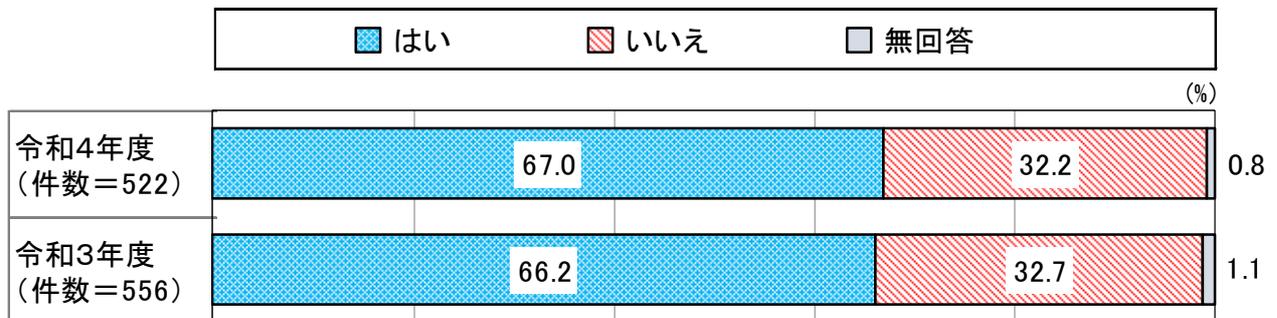


注: 昨年度は「下記の取り組みなどを通じて「安心・安全で快適なまち」づくりが進んでいると思いますか。」という質問文で尋ねた。

(2) 家庭内の災害に対する備えの有無

- 家庭内において、災害に対する備え（家具の転倒防止、水や食料などの備蓄、家族防災会議の実施、防災アプリの利用など）をしているかについては、「はい」が67.0%と7割近くみられ、「いいえ」は32.2%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、ほぼ同じ割合となっている。

問8. あなたは、家庭内において、災害に対する備え（家具の転倒防止、水や食料などの備蓄、家族防災会議の実施、防災アプリの利用など）をしていますか。
（あてはまるものに○をつけてください。）



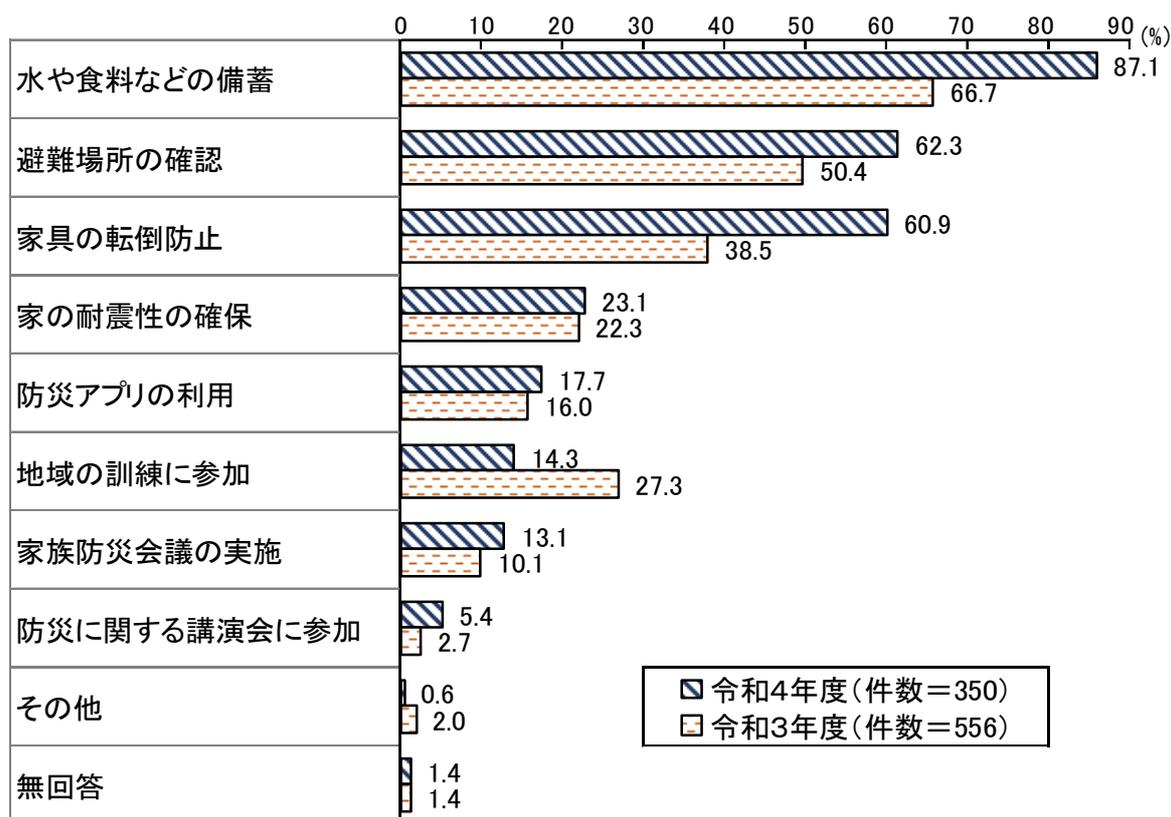
(3) 行っている災害に対する備え

- 家庭内で災害に対する備えを行っている方(350名)が、実際に行っている災害に対する備えとしては、「水や食料などの備蓄」が87.1%と最も多く8割以上となっている。次いで、「避難場所の確認」(62.3%)、「家具の転倒防止」(60.9%)が6割以上で、以下、「家の耐震性の確保」(23.1%)、「防災アプリの利用」(17.7%)、「地域の訓練に参加」(14.3%)、「家族防災会議の実施」(13.1%)「防災に関する講演会に参加」(5.4%)と続いている。
- 昨年度調査と比較すると、上位3項目は同じ順である。また、「地域の訓練に参加」は、昨年度は全世帯を対象とした訓練が実施され、参加予定者も回答しているため、半分に減少している。

(問8で「1 はい」と答えた方にお聞きします。)

問9. あなたが、実際に行っている災害に対する備えを教えてください。

(あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも可))



注: 昨年度はすべての方に尋ねており、「何もしていない」(11.0%)の項目があった。

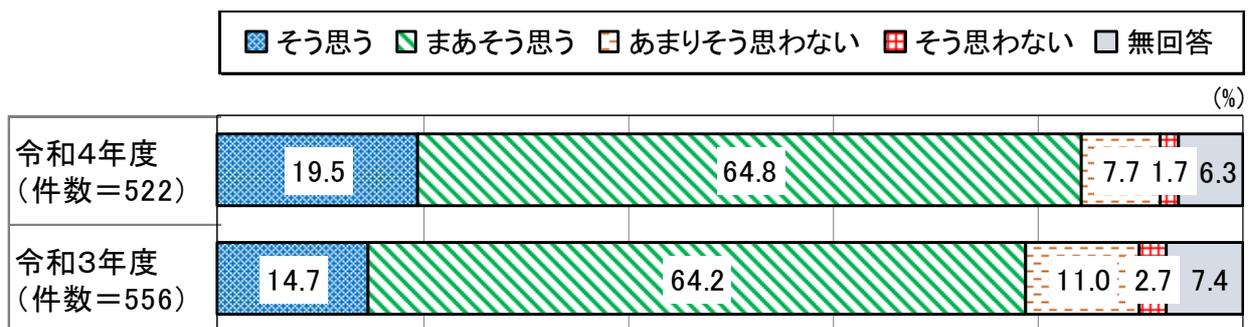
注: 「地域の訓練に参加」は、昨年度は「(9月5日の安否確認訓練への参加予定を含む)」であった。

2-2 「安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち」について

(1) 熱田区は「子育てしやすいまち」かについて

- 熱田区は「子育てしやすいまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が 64.8%と最も高く、「そう思う」の 19.5%と合わせて 84.3%と 8 割以上が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(7.7%)、「そう思わない」(1.7%) 合わせて否定的な評価の割合は 9.4%で 1 割未満となっている。
- 昨年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が 4.8 ポイント増加している。

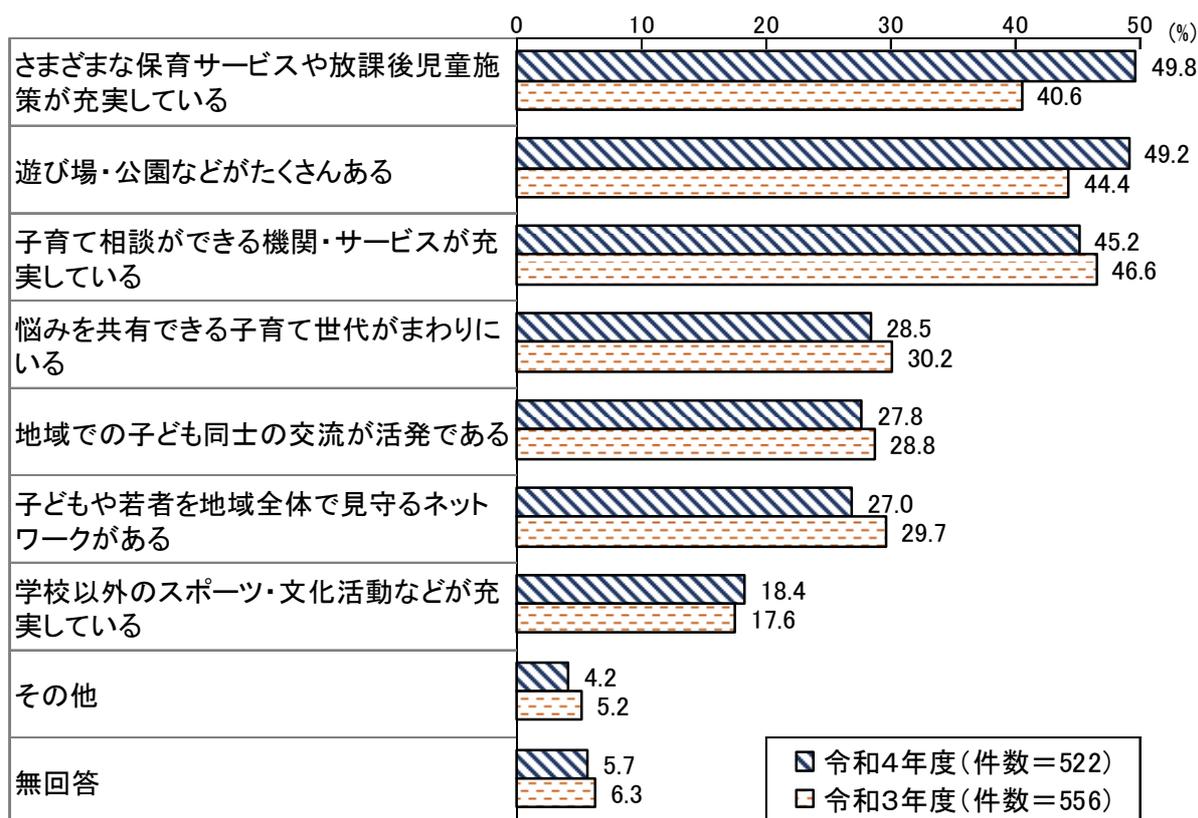
問 10. あなたは、熱田区は「子育てしやすいまち」だと思いますか。
(あてはまるもの 1 つだけ選んで○をつけてください。)



(2) 「子育てしやすいまち」に必要なこと

- 「子育てしやすいまち」に必要だと思うことについては、「さまざまな保育サービスや放課後児童施策が充実している」(49.8%)、「遊び場・公園などがたくさんある」(49.2%)、「子育て相談ができる機関・サービスが充実している」(45.2%)が半数近くとなっている。以下、「悩みを共有できる子育て世代がまわりにいる」(28.5%)、「地域での子ども同士の交流が活発である」(27.8%)、「子どもや若者を地域全体で見守るネットワークがある」(27.0%)は3割程となっている。
- 昨年度調査と比較すると、上位2項目とも割合は増加しており、その順位が入れ替わっている。

問 11. あなたは、「子育てしやすいまち」には何が必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。)

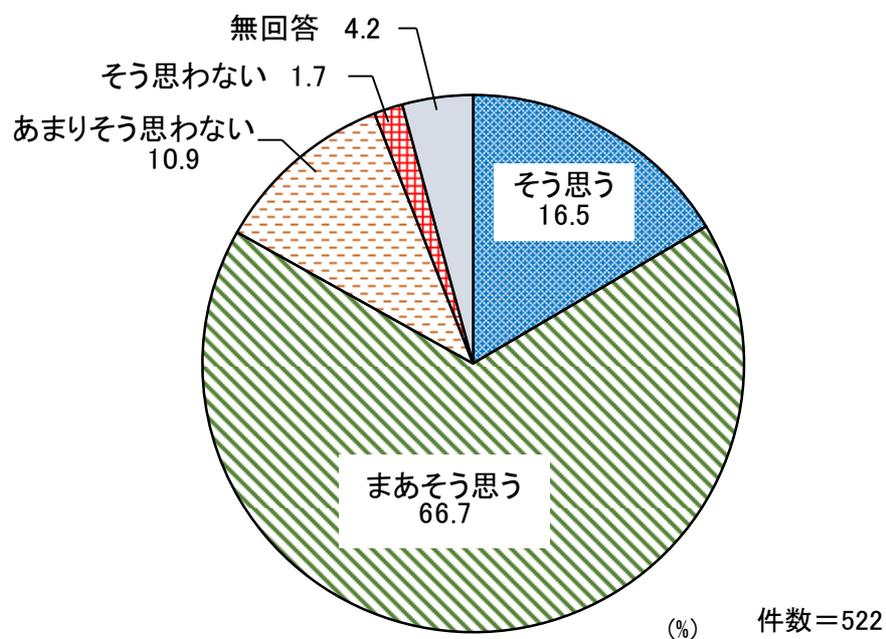


2-3 「誰もが『生きがい』や『あったかさ』を感じられるまち」について

(1) 熱田区は「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」かについて

○ 熱田区は「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」だと思うかについては、「まあそう思う」の割合が66.7%と最も高く、「そう思う」の16.5%と合わせて83.2%と8割以上が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(10.9%)、「そう思わない」(1.7%) 合わせて否定的な評価をする割合は12.6%となっている。

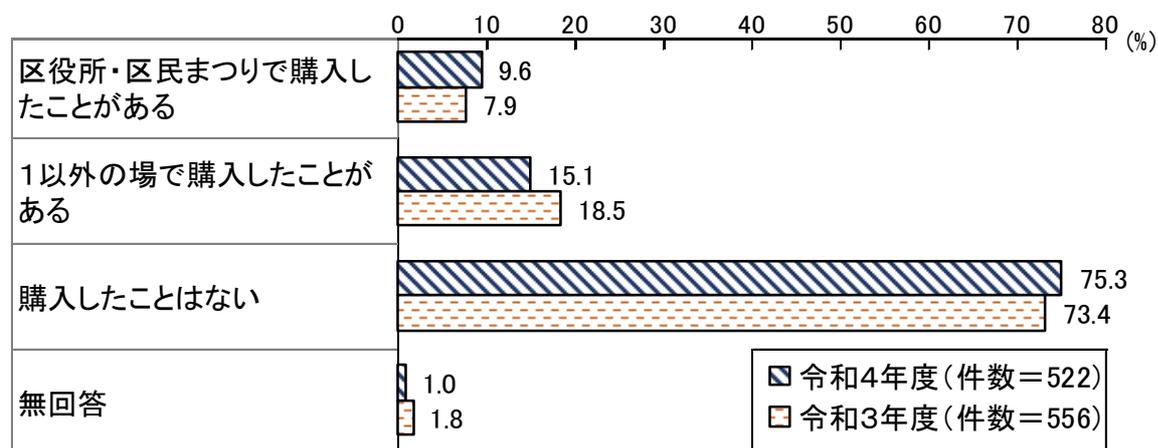
問12. あなたは、熱田区は「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」だと思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



(2) 授産製品の購入経験

- 障害のある方が製作した授産製品の購入については、「区役所・区民まつり以外の場で購入したことがある」が15.1%、「区役所・区民まつりで購入したことがある」は9.6%である。一方、「購入したことはない」は75.3%と7割以上を占めている。
- 昨年度調査と比較すると、「区役所・区民まつり以外の場で購入したことがある」の割合が3.4ポイント減少している。

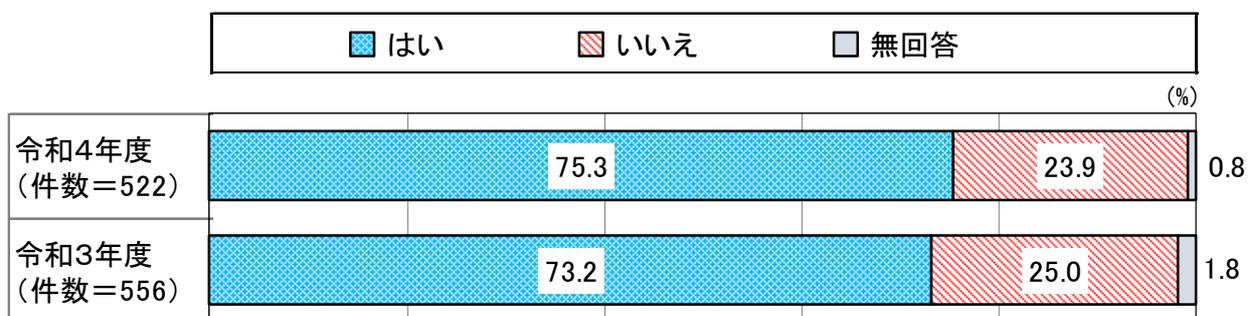
問 13. 熱田区では、現在区役所庁舎内（毎月第2・4金曜日）や区民まつりなどで障害のある方が製作した授産製品を販売しています。あなたは、授産製品を購入したことがありますか。
（あてはまるものに○をつけてください。）



(3) 健康づくりへの取り組みの有無

- 健康づくり（朝食を毎日食べる、睡眠を十分に取る、週に1回以上運動・スポーツを実施しているなど）への取り組みについては、「はい」が75.3%と、7割以上の区民が健康づくりに取り組んでいる。一方、「いいえ」の割合は23.9%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、あまり差異はみられない。

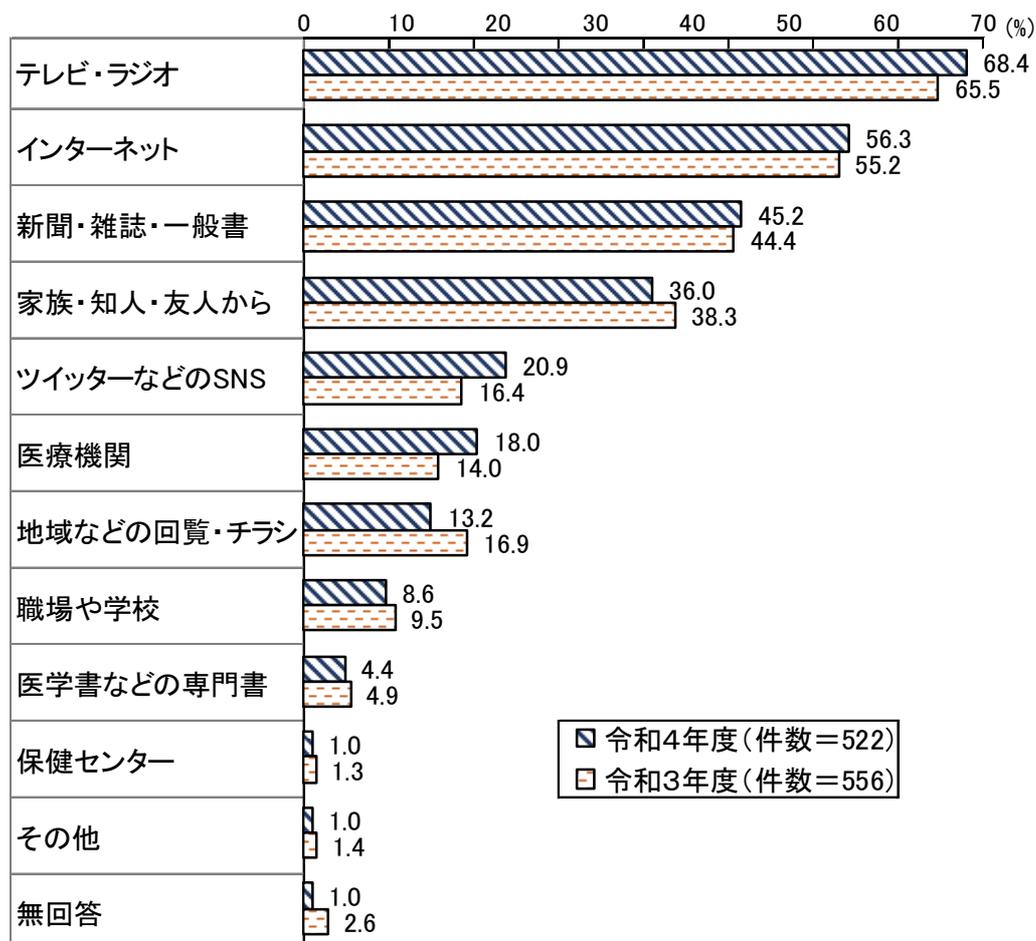
問 14. あなたは、健康づくり（朝食を毎日食べる、睡眠を十分に取る、週に1回以上運動・スポーツを実施しているなど）に取り組んでいますか。
 （あてはまるものに○をつけてください。）



(4) 健康づくりに関する情報の入手経路

- 健康づくりに関する情報の入手先としては、「テレビ・ラジオ」が68.4%と最も高く、次いで「インターネット」(56.3%)、「新聞・雑誌・一般書」(45.2%)、「家族・知人・友人から」(36.0%)、「ツイッターなどのSNS」(20.9%)、「医療機関」(18.0%)、「地域などの回覧・チラシ」(13.2%)と続いており、そのほかは1割未満と少数である。
- 昨年度調査と比較すると、上位4項目は同じ順であり、数値にも大きな差異はみられない。また、「ツイッターなどのSNS」、「医療機関」の割合は、4~4.5ポイント増加し、「地域などの回覧・チラシ」の割合は、3.7ポイント減少している。

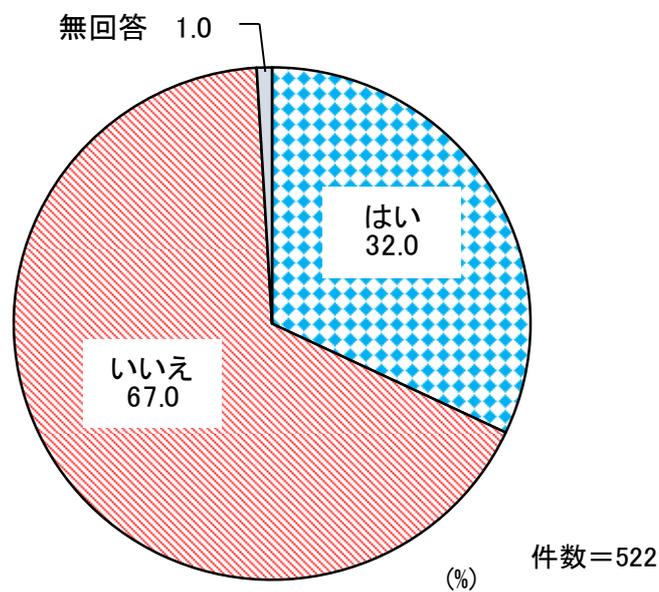
問 15. あなたは、健康づくりに関する情報をどのようにして知ることが多いですか。
(あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも可))



(5)「フレイル」の認知状況

○ 「フレイル」(加齢による虚弱のこと)という言葉聞いたことがあるかについては、「はい」が32.0%と、聞いたことがある区民は3割程となっている。一方、「いいえ」の割合は67.0%となっている。

問16. あなたは、「フレイル」(加齢による虚弱のこと)という言葉聞いたことがありますか。
(あてはまるものに○をつけてください。)

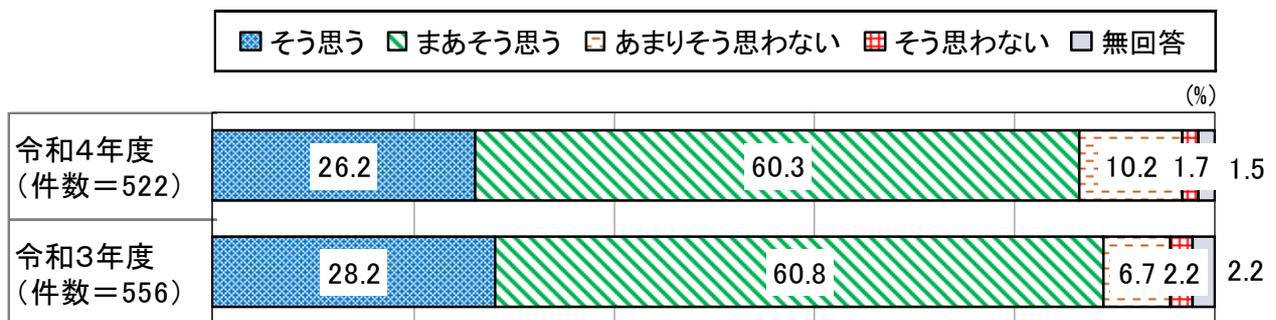


2-4. 「歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち」について

(1) 熱田区は「魅力的なまち」かについて

- 熱田区は「魅力的なまち」だと思いかについては、「まあそう思う」が60.3%と最も高く、「そう思う」の26.2%と合わせて86.5%が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(10.2%)、「そう思わない」(1.7%)を合わせて否定的な評価の割合は11.9%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、あまり大きな差異はみられない。

問17. あなたは、熱田区は「魅力的なまち」だと思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)

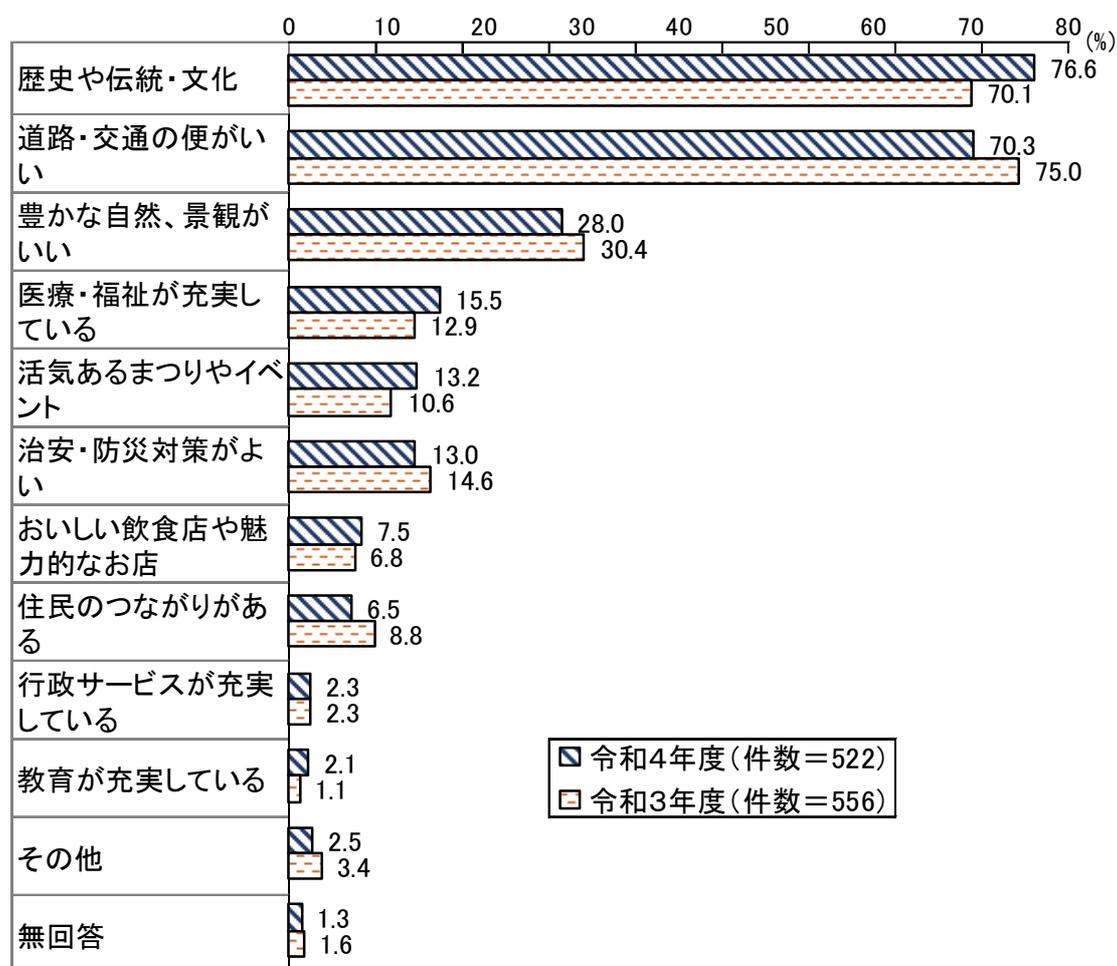


(2) 熱田区の魅力

- 熱田区の魅力としては、「歴史や伝統・文化」の割合が76.6%と最も多く8割近くの区民があげており、次いで、「道路・交通の便がいい」(70.3%)が7割程となっている。以下、「豊かな自然、景観がいい」(28.0%)が3割程、「医療・福祉が充実している」(15.5%)、「活気あるまつりやイベント」(13.2%)、「治安・防災対策がよい」(13.0%)が続いている。
- 昨年度調査と比較すると、「歴史や伝統・文化」の割合が昨年度より6.5ポイント増加している。一方、「道路・交通の便がいい」の割合は、4.7ポイント減少しており、その順位が入れ替わっている。

問 18. あなたは、熱田区のどんなところが魅力だと思いますか。

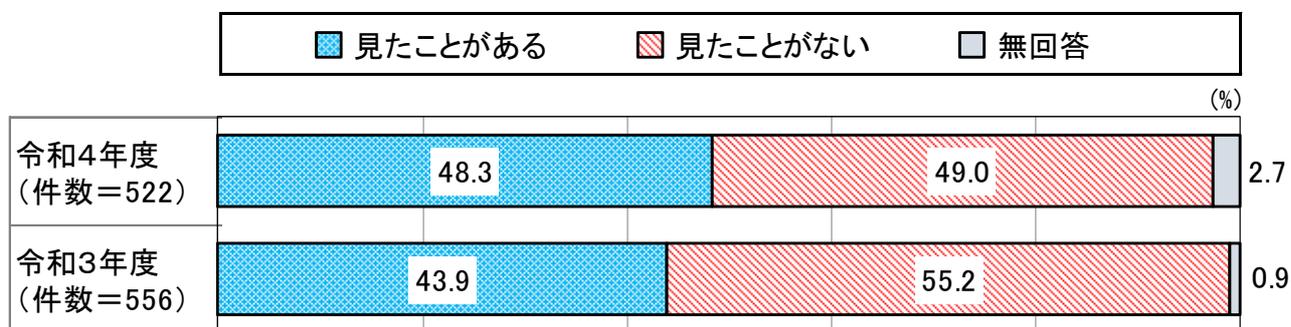
(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。)



(3) 熱田ブランドマークを見たことの有無

- 熱田の魅力発信や郷土愛をはぐくむため、熱田ブランド事業を行い、区民の投票により決定した熱田ブランドマークを「見たことがある」区民は48.3%となっている。一方、「見たことがない」は49.0%と、見た・見ていないは、ほぼ半々となっている。
- 昨年度調査と比較すると、「見たことがある」割合は4.4ポイント増加している。

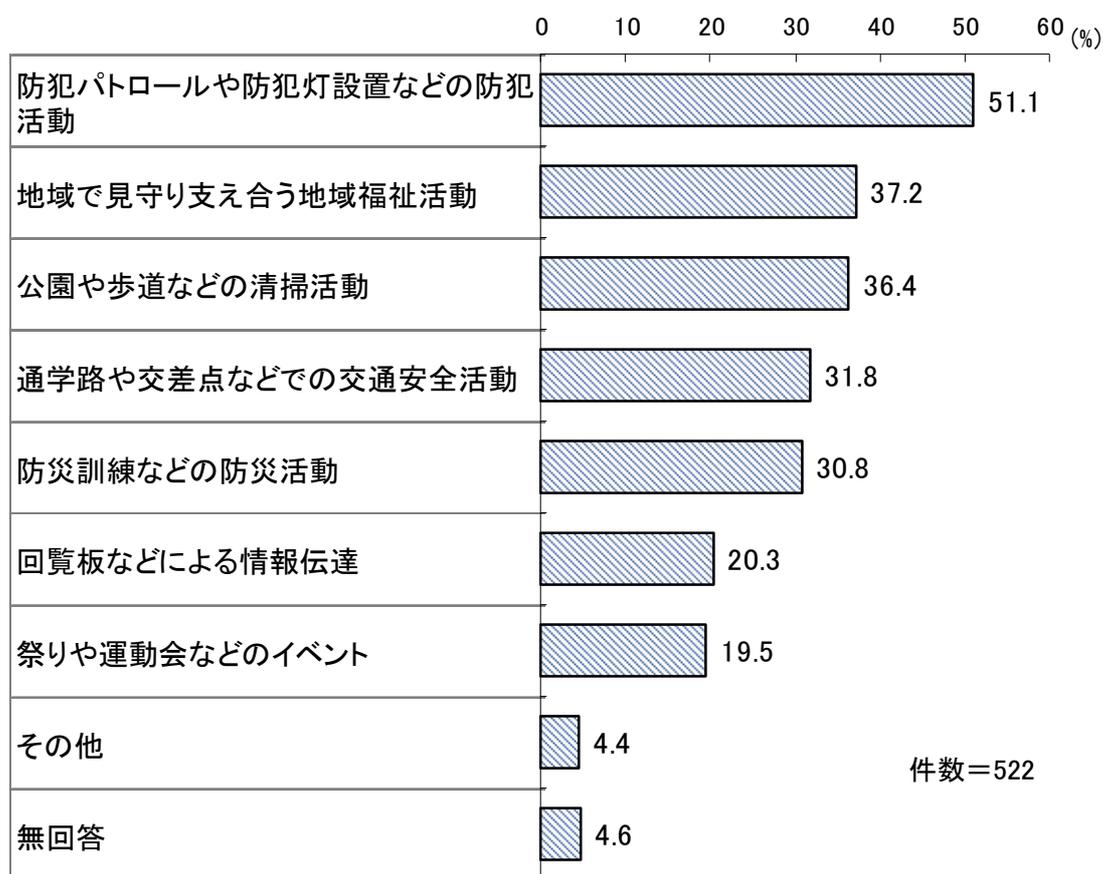
問 19. 熱田の魅力発信や郷土愛をはぐくむため、熱田ブランド事業を行い、熱田ブランドマークが皆さまの投票により決定しました。
あなたは、右のマークを見たことがありますか。
(あてはまるものに○をつけてください。)



(4) 町内会・自治会の活動で力を入れるべき取り組み

- 町内会・自治会の活動で力を入れるべき取り組みとしては、「防犯パトロールや防犯灯設置などの防犯活動」の割合が51.1%と最も多く、半数以上の区民があげている。以下、「地域で見守り支え合う地域福祉活動」(37.2%)、「公園や歩道などの清掃活動」(36.4%)、「通学路や交差点などでの交通安全活動」(31.8%)、「防災訓練などの防災活動」(30.8%)が3割台で続き、「回覧板などによる情報伝達」(20.3%)、「祭りや運動会などのイベント」(19.5%)は2割程となっている。

問 20. あなたは、町内会・自治会の活動で力を入れるべき取り組みは何だと思えますか。
(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。)



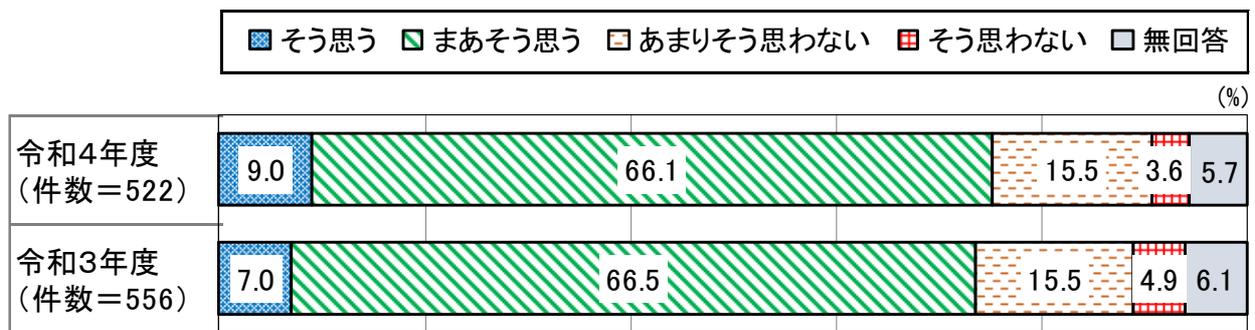
2-5. 「皆さまに信頼されるあったか区役所」について

(1) 区民ニーズや課題の把握について

- 区役所が区民のニーズや課題の把握に努めているかについては、「まあそう思う」が66.1%と最も高く、「そう思う」の9.0%と合わせて75.1%となり、肯定的な評価の割合は7割以上となっている。一方、「あまりそう思わない」(15.5%)、「そう思わない」(3.6%) 合わせて否定的な評価の割合は19.1%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、ほとんど差異はみられない。

問 21. あなたは、区役所は区民のニーズや課題の把握に努めていると思いますか。

(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



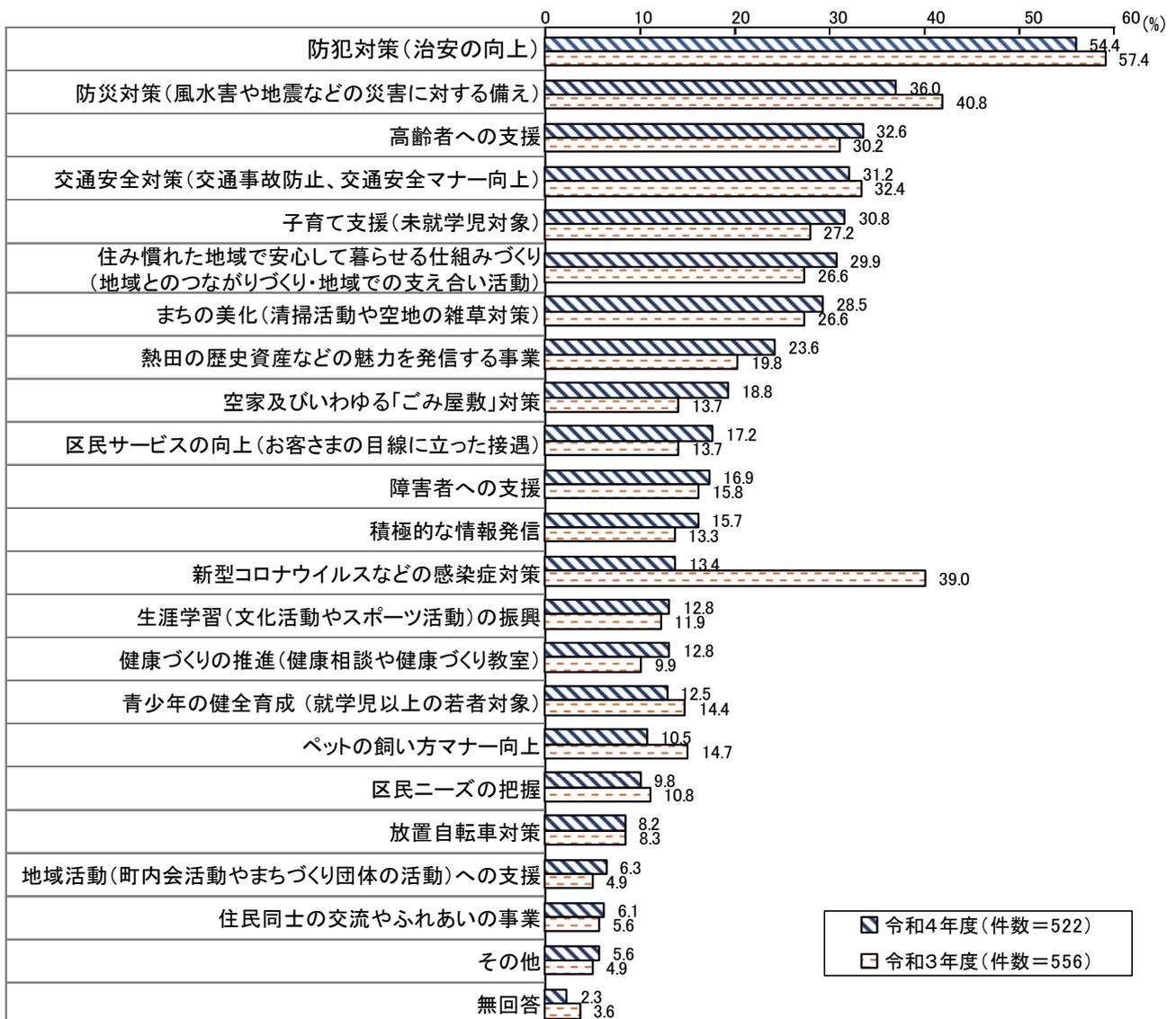
3. 力を入れて取り組むべき課題について

3-1 区役所が力を入れるべき取り組み

- 今後、区役所が力を入れて取り組むべき課題としては、「防犯対策（治安の向上）」が54.4%で最も高く、半数以上の区民があげている。以下、「防災対策（風水害や地震などの災害に対する備え）」（36.0%）、「高齢者への支援」（32.6%）、「交通安全対策（交通事故防止、交通安全マナー向上）」（31.2%）、「子育て支援（未就学児対象）」（30.8%）、「住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり（地域とのつながりづくり・地域での支え合い活動）」（29.9%）、「まちの美化（清掃活動や空地の雑草対策）」（28.5%）が、3割前後で続いている。
- 昨年度調査と比較すると、上位2位までは同じ順であるが、「防犯対策」の割合は3.0ポイント、「防災対策」の割合は4.8ポイント、それぞれ減少している。また、昨年度第3位であった「新型コロナウイルスなどの感染症対策」の割合は、大幅に減少している。

問 22. あなたは、今後、区役所が力を入れるべき取り組みは何だと思いませんか。

（あてはまるもの5つまで選んで○をつけてください。）



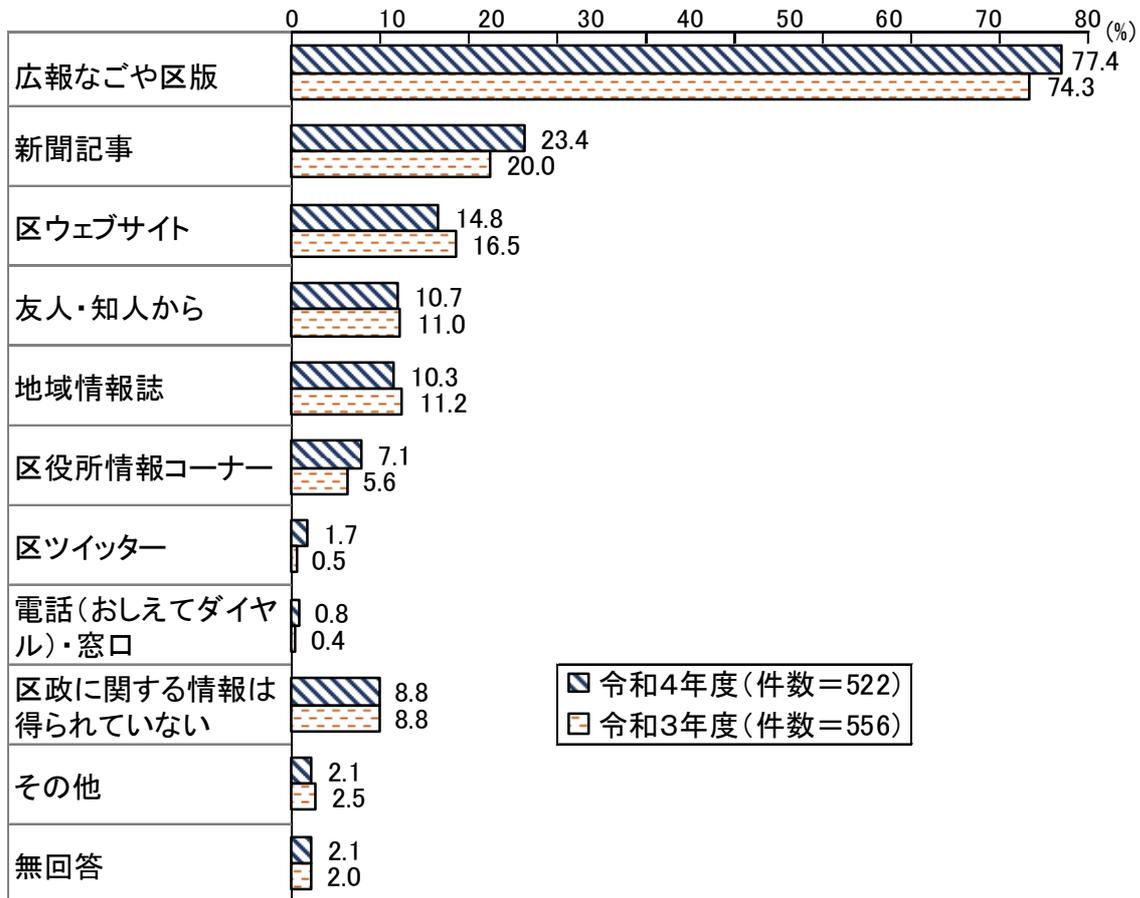
注:「熱田の歴史資産などの魅力を発信する事業」は、昨年度は「熱田の魅力を発信する事業」であった。

4. 熱田区役所の情報発信について

4-1 区政に関する情報の入手経路

- 区政に関する情報の入手先としては、「広報なごや区版」が77.4%と最も高く、他を圧倒している。次いで、「新聞記事」(23.4%)、「区ウェブサイト」(14.8%)、「友人・知人から」(10.7%)、「地域情報誌」(10.3%)と続いている。一方、「区政に関する情報は得られていない」と8.8%が回答している。
- 昨年度調査と比較すると、「広報なごや区版」は依然として圧倒的に高く、3.1ポイント増加している。また、「新聞記事」も3.4ポイント増加している。

問23. あなたは、区政に関する情報をどのようにして知ることが多いですか。
(あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも可))

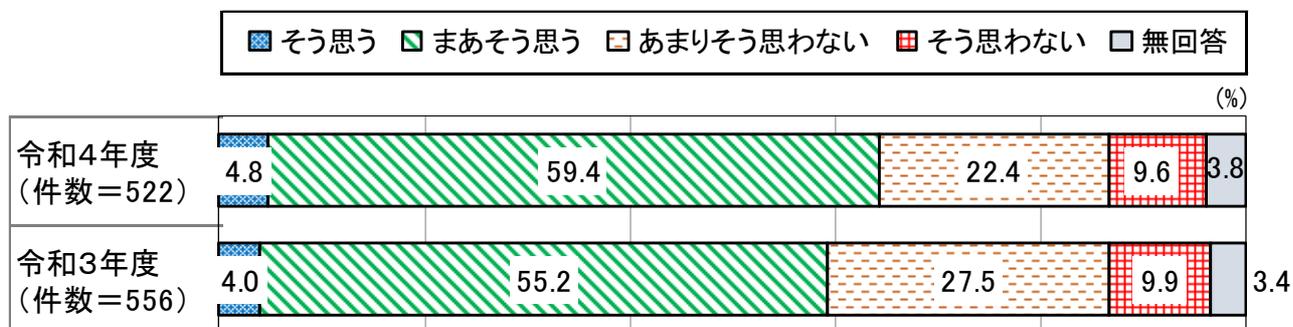


注:「区ウェブサイト」は、昨年度は「区ホームページ」であった。

4-2 区政に関する情報は十分か

- 区政に関する情報が十分に得られているかについては、「まあそう思う」が59.4%と最も高く、「そう思う」(4.8%)と合わせて64.2%と肯定的な評価の割合は6割以上となっている。一方、「あまりそう思わない」(22.4%)、「そう思わない」(9.6%)を合わせた否定的な評価の割合は32.0%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は5.0ポイント増加している。

問 24. あなたは、区政に関する情報が十分に得られていると思いますか。
 (あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



5. ご意見・ご要望等（自由記入）

問25. 熱田区のまちづくりや熱田区役所に対するご意見・ご要望、今後、熱田区をさらに魅力あふれるまちにするために取り組むべき施策などがありましたら、ご自由にお書きください。

熱田区に対するご意見を自由に記入していただいたところ、164件のご意見をいただきました。

18歳から29歳まで	10件
30歳から39歳まで	22件
40歳から49歳まで	27件
50歳から59歳まで	32件
60歳から69歳まで	27件
70歳から79歳まで	33件
80歳以上	9件
その他（年齢不詳）	4件

いただいたご意見は、熱田区役所ウェブサイトにて掲載しています。

【ウェブサイトアドレス】 <https://www.city.nagoya.jp/atsuta/>

お問い合わせ先：熱田区役所企画経理室

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

TEL： (052) 683-9688

FAX： (052) 682-1496

E-mail： a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp